

【第12回コンクール 応募用紙記入要領】

1. 市町村名

チームの活動の場としている市町村名を記入してください。複数市町村にまたがる場合は、その全てを記入してください。

2. チーム名

チームの名称（任意）を記入してください。
ふりがなをお願いします。

※「チーム」は、コンクールへの参加についてのチーム構成団体相互の同意があればよく、協議会の設置や規約の作成等は任意とします。

3. チーム代表者名（所属団体名）

応募チームの代表者名、及び代表者が所属している団体名を記入してください。

ふりがなをお願いします。

4. チーム結成年月日

応募チームの結成年月日またはチームで活動を開始した開始年月日を記入してください。どちらも不明の場合は、活動開始年を記入してください。

5. ホームページ・SNS等

チーム（またはチームの活動などが掲載されている構成団体）のホームページやインターネットを利用したサービス（SNSなど）を利用しているものがあれば、記入してください。この欄の記載において「非公開」とするものは口にチェックしてください。なお、この取扱いについては、応募要領の「留意事項」を参照願います。

6. チームの所属人数

応募時点のチーム構成団体の所属人数の合計を記入してください。なお、所属人数は、募集対象の活動に参加もしくは参加の可能性がある人数としてください。

7. 連絡先氏名（所属団体名）

応募チームの連絡先となる担当者の氏名及び担当者が所属している団体名を記入してください。ふりがなをお願いします。

8. 所在地、TEL、FAX、E-MAIL

上記7の担当者または団体の連絡先を記入してください。この欄の記載において「非公開」とするものは口にチェックして下さい。

なお、この取扱いについては、応募要領の「留意事項」を参照願います。

9. メールマガジン配信希望

北海道開発局では「わが村は美しくー北海道」運動やコンクール参加団体の活動をはじめ、関連情報を広く伝えるため、メールマガジンを配信しています。本応募用紙に記載されたメールアドレスへの配信希望の有無を選択してください。

10. NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク 特別会員（会費無料）への登録意向について

当NPO法人は、北海道開発局と連携して運動の推進を支援するために活動を行っており、本コンクールの共催団体となっています。

その会員は、正会員、賛助会員及び特別会員により構成され、特別会員はコンクール参加チームのうち、入会を希望されたチーム又は構成団体となります。

構成団体すべてでも、単独の団体でも入会できます。

応募用紙の[10]の欄の「有」を選択していただきますと、チーム及びその構成団体すべてがNPOの特別会員として登録されます（あらためての入会手続きは不要です）。ただし、構成団体の中で入会を希望しない団体がある場合は、備考欄にその団体名を記入してください。

なお、特別会員に入会することで、当NPOの事業として実施している、特別会員への情報提供や助成事業等の各種支援活動を受けることができます。

詳しくは、当NPOのホームページをご覧ください。

URL：www.wagamura-net.jp

11. 活動のはじまり

チームで行っている活動がいつ、どのような経緯やきっかけからはじまったのかについて、200字程度で簡潔に記入してください。

12. 活動の概要

チームで行っている活動の概要について、200字程度で簡潔に記入してください。

13. 活動に関するPR・エピソード等

チームで行っている活動のここが自慢などのPRポイントやエピソード等を200字程度で記入してください。

14. チームの構成団体・チーム外の協力者（団体）

①チームの構成団体

チームの構成団体名、組織形態、所属人数、連携している活動内容・役割分担を記入してください。

②チーム外の協力者（団体）

チーム外の協力者（団体）名、組織形態、協力の内容を記入してください。

※①、②ともに組織形態は、プルダウンメニューから該当するものを選択してください。

③連携・協力体制図（模式図）

応募チームの構成団体とチーム外の協力者（団体）の全体像を分かりやすく示すため、応募用紙の「模式図のイメージ」を参考として、連携・協力体制の模式図を添付してください。

※「連携」とは、異なる団体がそれぞれの目的（共通の場合も含む）の達成のため、お互いの人材、資金、情報、ノウハウ等の資源を提供しあう双方向の関係をいう。

※「協力」とは、ある団体の目的達成のため、他方の団体が援助する関係をいう。

※記載欄が不足する場合は、任意の別紙に記載していただいてもかまいません。

15. 審査項目に関するもの

以下の6つ（①～⑥）の審査項目について、「景観」「地域特産物」「人の交流」の3つの要素との関わりを意識しながら記入してください。

①農林水産業の生産活動との関わり

地域で行われている農林水産業の生産活動とどのような関わりがあり、農林水産業の維持発展に寄与していると考えて

【第12回コンクール 応募用紙記入要領】

いることをコメント欄に記入し、参考となる写真を添付してください。

②-1 目的及び理念

チームとして「地域づくりにどの様に取り組まれようとしているのか」の観点について、目的及び理念を記入してください。

②-2 目的及び理念に基づく目標

目的及び理念に基づく応募時点での目標を記入してください。

③継続性・持続性

チームで行っている活動について、直近5カ年（令和3年度から令和7年度（見込み含む））の活動実績（住民参加イベント含む）を項目、開始年、解説欄に記入してください。

※記入例

【項目】食育活動

【単位】（開催回数・延参加人数）回・人

【解説】地域の小中学生を対象に食育事業を実施 など

④地域住民の理解の度合い

地域住民の参加を促す広報活動等の取組についてコメント欄に記入し、参考となる写真を添付してください。

⑤個性・独創性

実施している活動の中で、どの活動がどのような面でのように個性・独創性があるか、また、それが地域資源の付加価値時向上にも寄与している場合は、その具体内容もコメント欄に記入し、参考となる写真を添付してください。

⑥地域活性化への効果

チームで行っている活動の種類について、該当するものを最大3つまで選択し、そのうち最も主となるもの1つは◎を選択してください。

また、それらの活動がどのような面において地域に貢献し、地域活性化に結び付いているかをそれぞれの活動に種類ごとにコメント欄に記入し、参考となる写真を添付してください。

※活動の種類は、プルダウンメニューから該当するものを選択してください。

※写真は、北海道開発局のHP、SNSなどで応募チームの紹介等にそのまま使用することがありますので、人物が写っている場合は、本人の同意を得るなど、第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害する恐れのないものをご使用ください。

※「景観」「地域特産物」「人の交流」の3つの要素とどの程度関わっているかについて、下記の活動例の下線部の表現を参考としてください。

● 生産活動を支える農村空間にかかる活動例

- ・農村の景観を守るために、地域内外の人々が協力し合いながら、農地や農家周りでの手入れ、修景などの共同作業に取り組んでいる。
- ・地域をあげて景観緑肥による土づくりに取り組むなど、安全・安心な農作物を生産し、特産品化に繋げている。
- ・間伐材を利用した製品の製造、販売を行いながら、地域の森林資源を守り地元の雇用も創出している。

● 生産者と連携している活動例

- ・地域の景観を形成している地場産の農林水産物を主材料として、生産者と商工会等が共同で新たな商品開発に取り組み、地元の農山漁村景観や農林水産物の良さを発信している。

● 生産物を活用（単なる利用は不可～生産者の意思が反映されている活動かどうかポイント）している活動例

- ・生産活動によって作られる農山漁村景観と農林水産物を結びつけて、消費者や子供達との体験型の交流活動を行い、農林水産業と農山漁村の良さを伝えている。
- ・学校の活動で生徒自ら生産した農畜産物を用いて、食品の加工製造に取り組み、地域の商工会などと連携し町の活性化に影響を与えている。

16. その他添付書類

説明を補うものとして必要に応じて下記の資料を添付してください。

- 活動を紹介するチラシ、パンフレット、写真等
- 活動を行っているエリアが分かる図面等

※ 本応募用紙の記載欄が不足する場合は、任意の別紙に記載していただいてもかまいません。

※ その他添付書類は概ね3枚以内になるようご協力をお願いします。